

外国語科 学習指導略案

1. 日 時 令和3年〇月〇日 (〇)

2. 場 所 府立〇〇高等学校 〇〇教室

3. 学年・組 第1学年〇組 (〇〇名)

4. 単 元 名 Lesson 6 Willpower and Sleep
教科書：Genius English Communication I (大修館)

5. 領 域 「読むこと」「話すこと (やり取り)」「話すこと (発表)」

6. 単元目標

- ・リーディングを通して読んだ内容を視覚的にまとめることができる
- ・自分のオーガナイザー (概念図) を使って本文の内容を伝えることができる
- ・答えのない問いに対して短い時間で自分の意見を考え相手に伝えることができる
- ・willpower (意志力) に関する調査を行い、その結果を英語で発表することができる

7. 単元の評価規準

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
【読むこと】 新出語彙、本文の文構造を理解している (知識) 【話すこと (やり取り)】 短い時間で考えた自分の意見を相手にわかるように話す技能を身に付けている (技能) 【話すこと (発表)】 willpower に関する調査を通して willpower についてより理解をしている (知識)	【読むこと】 willpower について書かれた文章を読み、概要を捉え、オーガナイザーで自分なりにまとめている 【話すこと (やり取り)】 単元の open-ended question に対して短い時間で自分の意見を考え、相手に伝えている 【話すこと (発表)】 willpower に関する調査を行い、まとめたものをほかの人に伝える語句を用いて話している	【読むこと】 willpower について書かれた文章を読み、概要を捉え、オーガナイザーで自分なりにまとめようとしている 【話すこと (やり取り)】 単元の open-ended question に対して短い時間で自分の意見を考え、相手に伝えようとしている 【話すこと (発表)】 willpower に関する調査を行い、まとめたものをほかの人に伝える語句を用いて話そうとしている

8. 単元の指導と評価の計画（全7時間）

○…総括的評価

時	ねらい（■）、言語活動（丸数字）	評価の観点			評価方法等
		知	思	態	
1	■willpower に関して自らのスキーマを確認し、さらなる興味・関心を持つ ①この課の英文の著者及び著書について教員の small talk を聞く ② willpower の定義の説明を聞いた後、自分には willpower があるかどうか自分の経験を基に相手と伝え合う ③何名かの生徒は自分の意見を全体に発表する ④レッスン全体の目標及びプレゼンのトピック説明を聞く				③何名かを指名し、全体に発表させる 【観察】
2 3 4	■willpower について書かれた文章を読み、オーガナイザーで自分なりにまとめる【読むこと】 ■単元の open-ended question に対してその場で自分の意見を考え相手に伝える【話すこと（やり取り）】 ①新出語彙をフレーズで quick response する ②本文の要約を聞き概要を理解する（英語による Q&A） ③本文を読み、詳細を理解する（英語による Q&A） ④本文を音読する 宿題：本文をオーガナイザーでまとめ、retell の練習をする				②自分の意見を考え、相手に伝える活動を行う【観察】
5	■本文の内容をまとめた自分のオーガナイザーを用いてレッスン全体の内容を伝え、書く【読むこと】 ①1st retell ②Rewrite→Peer Correction		○	○	①、②についてワークシートの記述内容で評価する
6	プレゼンテーション準備				
7	プレゼンテーション【話すこと（発表）】	○	○	○	スピーキングテストで評価する ※ループリック参照
後日	ペーパーテスト（考査）【読むこと】【話すこと（やり取り）】	○	○	○	ペーパーテストで評価する

※1～7時間目は、一斉に記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動（言語活動）の状況を見届けて指導に生かすことは毎時間行う。

9. 本時の展開（第3時）

（1）本時の目標

- ・ part1&2 をまとめた自分のオーガナイザーを使って本文内容の **retell** ができる
- ・ part 1&2 に関する **open-ended question** に対し、自分の意見を考え相手に伝えることができる
- ・ リスニングを通し、part3&4 の概要を、メモを取りながら理解し、質問に答えることができる
- ・ リーディングを通し、part3&4 の内容を理解し、質問に答えることができる

（2）本時の学習過程

時間	生徒の学習活動	指導内容及び指導上の留意点
retell (8 分)	3 人組 Speaker, Listener, Counter の役割を回し、part1&2 の retell を 1 分で語数カウントと態度を評価しながら行う	speaker に eye-contact を意識して話すよう伝える
open-ended question (12 分)	① ハンドアウトにある part1&2 の open-ended question に対して自分の意見を 2 分で構築し、1 回目は 30 秒、2 回目は 45 秒（自分の意見＋1 回目のペアの内容を要約）でペアを代えて伝える ② 数名の生徒の意見を全体に向けて発表してもらう	・ eye-contact を意識して話すよう伝える ・ 2 回目に要約を伝えられるように 1 回目でパートナーの話をしっかり聞いておく ・ 観察中に面白い生徒の意見を拾う
new phrases for listening (12 分)	① T:日→英、S:英、T:英、S:英の順で新出フレーズをリピートする 生徒は教師の英語を聞いてスペルを想像してからスペルを確認し、リピートする ② Pair translation activity	・ ハンドアウトは全てのフレーズのリピートが終わってから。 ・ 発音上の注意点に言及しながらしっかり音を聞かせて発音させる
listening (8 分)	part 3&4 の要約をメモを取りながら聞く内容をペアで確認し、2 つの問いに答える	読み上げる速度は落とさず、チャンク間のポーズをとるよう意識する
new phrases for reading (4 分)	本文を読むうえで必要な新出フレーズを T:日→英、S:英、T:英、S:英の順でリピートする 生徒は教師の英語を聞いてスペルを想像してからスペルを確認し、リピートする	発音上の注意点に言及しながらしっかり音を聞かせて発音させる
reading (8 分)	part 3&4 の本文を読み、2 つの問いに答える 設定時間後、本文の内容及び問いの答えを確認する	まずは本文を通して読むように伝える
reading practice (12 分)	part 4 音読 ・ Chunk Reading ・ Overlapping / Shadowing	・ 文理解を促すような質問を投げかける ・ チャンクを意識させて音読させる ・ Overlapping/Shadowing ではまずは音に集中するよう声をかける

あいさつ (1 分)	宿題確認(part3&4 のオーガナイザー作成 &retell 練習)	宿題をきっちり行うよう声掛けをする
---------------	--	-------------------

10. スピーキングテスト

【話すこと（発表）】

＊「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」を一体的に評価

ア 準備するもの

プレゼン準備用のワークシート

イ 内容

- ・ Do research on some other things that influence your willpower. というトピックに対して 4 人組でパワーポイントを使つてのグループプレゼンテーション（4 分のプレゼンで 1 人 1 分目安）
- ・ プレゼンの評価基準は以下の通り（プレゼンの準備段階で提示）

Points to evaluate		Rubrics	Score
1	Content	理解しやすい英語で表現している。方法、結果を明示しており、今後の意思決定において大きくプラスになる内容である。	5
		理解しやすい英語で表現しているが、調査の方法や結果などについて情報が不足しているところがある。	3
		難解な表現や発音が理解を妨げ、内容が理解できないところがある。	1
2	Delivery	教室の後ろに聞こえる大きさに、気持ちを込めている。メモに頼りすぎず、アイコンタクトやジェスチャーも効果的に使っている。	5
		教室の後ろに聞こえる大きさであるが、メモに頼る場面が多々あり、ジェスチャーを効果的に用いる事ができていない。	3
		聞こえないときがあり、ノートを見て読むだけになる場面が頻繁にある。	1